

令和2年度 八代高等学校シラバス

教 科	理科	科 目	物 理	学 年	2	類 型	理系
単位数	3	教科書	総合物理 1・2（啓林館）				
副教材	リードα物理基礎・物理（数研出版）、物理研究ノート（博洋社）						

学習目標	・物理的な事物・現象に関する観察・実験などを通して、探究する能力や態度を高める ・日常生活との関わりについて考察し、自然に対する見方や考え方を培い、論理的思考力や課題解決能力を養う
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達度自己評価 A B C
1 学 期	第1部 様々な運動 ○剛体のつりあい	◎剛体のつりあいの条件や重心について理解する	☐ ☐ ☐
	○運動量と力積	◎運動量や力積について学び、様々な運動を理解する	☐ ☐ ☐
2 学 期	○円運動と単振動	◎円運動や単振動など周期的な運動を理解する	☐ ☐ ☐
	○万有引力	◎万有引力やケプラーの法則について学習し、惑星や探査機の運動を理解する	☐ ☐ ☐
	第2部 熱 ○気体分子の運動	◎気体分子運動論や様々な法則について学び、気体の状態変化やその利用について理解する	☐ ☐ ☐
3 学 期	第3部 波 ○波の性質	◎波を数式で表現したり、波の反射や屈折、干渉、回折などの現象を理解する	☐ ☐ ☐
	○音	◎音の性質やドップラー効果について理解する	☐ ☐ ☐
	○光	◎光の性質やレンズ・鏡、光の干渉について学び、生活との関連や、光の利用について理解する	☐ ☐ ☐

学習方法	授業を大事にし、物理的な事物・現象に対する概念や法則を暗記するのではなく、理解することに重点を置く。また、毎時間後の復習を徹底し、理解を深める努力をすること。理解をする上で計算力は必須なので、複雑な計算も必ず自分の手で行うこと。
------	--

評価方法	考查評価7～8割（定期考查・課題考查）、平常点評価2～3割（課題、提出物、授業態度等）で総合的に評価し、100点満点で評点を算出するとともに5段階で評定を決定する。
------	--